

# 県専用の生成AI利用環境の利用に係るガイドライン概要

## 県専用の生成AI利用環境の特徴

- ① 入力データが生成AIの学習データに利用されない設定となっている。(データ利用の不同意(オプトアウト)の個別設定が不要)
  - ② 県専用の環境にデータが保護され、職員以外はアクセスできない。
  - ③ 全職員に利用アカウントが付与され職員が個別にアカウントを作成する必要がない。
- ※ インターネット上の情報を踏まえた回答を生成することはできない。

## データ入力時の注意事項

- ✓ **個人情報をはじめとした機密性の高い情報を入力しないこと。**

### 入力不可とする情報の例：

個人情報、法人情報、法令秘密情報 等

### 入力可能とする情報の例：

公表を前提としている文書、会議・打ち合わせ記録 等

## 生成物利用時の注意事項

- ✓ **生成物を鵜呑みにせず根拠等をしっかり確認すること。**  
生成物には、虚偽や意図しない偏りが含まれる可能性があるため、正確性・妥当性・一貫性・説明可能性の観点から確認する。  
特に、事実関係の誤り、偏り、計算、最新情報に注意。
- ✓ **著作権、商標権、意匠権等を侵害していないか確認すること。**  
インターネット検索や「特許情報プラットフォーム」を活用すること。
- ✓ **生成物は、原則として取捨選択、修正加工を行った上で利用すること。**  
生成物をそのまま利用した場合は「千葉県生成AI利用サービスにより作成」と資料中に明記すること。